

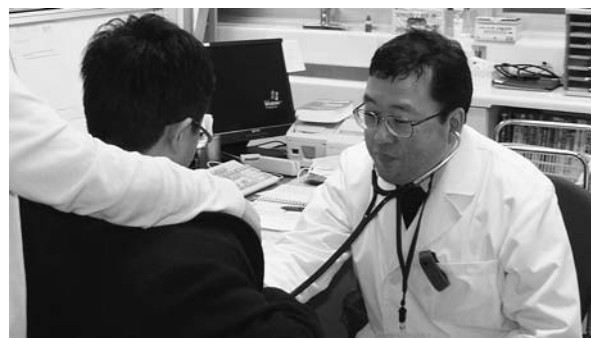
住田地域診療センターに… 常勤の内科医が着任!

昨年4月末から内科常勤医が不在となっていた住田地域診療センターに1月4日から常勤の内科医が新たに着任し、外来・訪問診療を精力的に行っています。

昨年4月末から内科常勤医が不在となっていた住田地域診療センターに常勤医が着任しました。これまで地域診療センターでは内科医が昨年4月末に退職してから大船渡や高田、遠野の各県立病院からの応援で診療体制を維持してきました。

本町では無床化だけでなく内科医の不在で町民に広がっていた地域医療への不安を解消するため県などに対し内科医の常勤を求める要請活動を行ってきましたが医師不足の状況から不在状態が続いていました。これを受け、県医療局

では昨年の県議会9月定例会決算特別委員会の席上で常勤医の内定を報告、今月4日付で辞令が発令され内科の医師が着任しました。内科長として着任したのは岩泉町出身の工藤正一郎医師で岩手医大医学部を卒業後は県立中央病



患者と笑顔で接する工藤医師

院を始め、清生会岩泉病院内科医、普代村国保診療所長、盛岡郵政健康管理センター長を歴任してきました。

また、日本臨床内科医会認定臨床内科専門医や日本医師会認定産業医、同会認定健康スポーツ医の資格を持っています。

工藤医師は「十数年前に中央病院から応援診療で来たことがあり自然が豊かであり所だと思っていた。微力ながら町の医療に貢献していきたい」と抱負を語りました。



佐賀篤新教育長

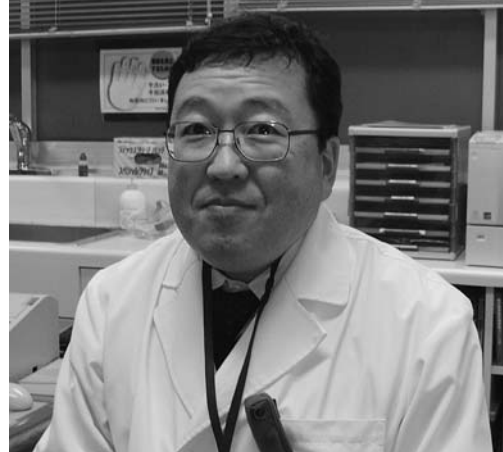
新教育長紹介

1月2日付けで、佐賀篤氏が教育委員に任命され、新たに教育長に就任しました。

▽教育長就任の抱負：

教育長となり学校だけではなく教育全般が責務であり、まだまだ勉強が必要だと感じています。学校教育では知・徳・体のバランスのとれた育成に向け、家庭や地域と連携し環境整備を行い、社会教育では住田型生涯学習の充実や整備中の運動公園、五葉地区公民館を活用した自主活動の支援などを行っていきたくと考えています。

みなさんの力を借りながら一歩一歩着実に臨みたいと思っています。



氏名…工藤 正一郎 (47歳)
出身地…下閉伊郡岩泉町
診療科…内科
主な経歴…普代村国民健康保険診療所長・盛岡郵政健康管理センター長など
趣味…子供と遊ぶこと

Q 本町の印象は…
A 自然が豊かで、人情味もあふれるとても美しい町だと思っています。

Q 町民へ一言…
A 微力ではありますが住田町民の方にやれる範囲で医療を尽くさせていたきますのでご指導ご鞭撻をよろしく願います。

地域住民活動情報

せたまい

まちづくり委員会

凧作り教室開催

1月9日、凧作り教室が開催され、冬休み中の世田米地区の子どもたち28人とその父母が参加し凧作りを学びました。

この凧作り教室は、せたまいまちづくり委員会が、世田米地区の「達人に学ぶ事業」として世代間交流も兼ねているもので、昨年に続き2回目の開催となりました。



空高く揚がった凧に大きな歓声が…

凧作りの指導は、世田米地区の「凧作りの達人」の皆さんとせたまいまちづくり委員会の役員があたりました。

凧作りの材料となる竹ひごは、教室の前日に達人と役員の皆さんが作成し準備しました。子どもたちは縦40センチ、横30センチの長方形の和紙に、干支の寅やアニメのキャラクター、自分の名前などを書き入れ、竹ひごを組んで接着剤と糸で固定し、凧作りに取

り組みました。初挑戦となる参加者が多数いましたが、達人と役員に教わり手伝ってもらいながら作業し、約1時間の作業で全員が凧を完成させることができました。

凧作り終了後は、河川公園に移動し凧上げに挑戦しました。子どもたちは、自分の凧を空高く揚げようと糸を持って駆け回りました。達人と役員も自作の大型凧を揚げるとともに、子どもたちに凧揚げの手法を見せていました。

凧は弱めでしたが、子どもたちの中には、糸が足りなくらい高く揚がる凧もあり、凧揚げ会場は参加者の賑やかな歓声が響いていました。

子どもたちは「自分の凧が高く揚がりとても楽しかった」「また、来年も開催してほしい」などと笑顔で話していました。せたまいまちづくり委員会では、来年も凧作り教室を開催したいと考えています。

地域づくり塾【最終回】

1月12日、第7回地域づくり塾が開催され12人の塾生が参加しました。今年度の地域づくり塾は、2回の視察を含めて7回開催され、今回が最終回となりました。

今までの研修を踏まえ「自分の夢を描こう」をテーマに、各自が持ち寄った写真や切り抜きを貼り付け、絵を描いたりしながら「自分の夢をポスター」にしました。

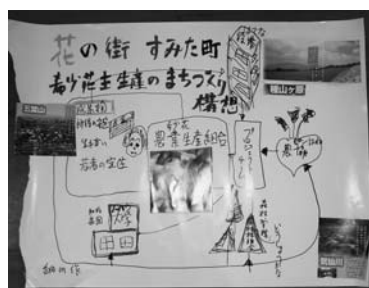
塾生は「世田米商店街活性化構想（10年後の商店街）」「花の街すみた町希少花主生産のまちづくり構想」「住田で第九（交



世田米商店街活性化構想

響曲第9番二短調作品125、ベートーベン作）をやりたい。自分はオーケストラで演奏したい」などそれぞれの夢を語りました。

地域づくり塾の最終回にあたり、講師のせんだいみやぎNPOセンター加藤哲夫代表理事は「住田町は自然豊かないい町です。住田の良さを知り、住民一人ひとりが地域への想いを形づくる行動を起し、よりよい町づくりに取り組まれることを期待しています」と話しました。



花の街すみた町希少花主生産のまちづくり構想

◆問い合わせ

町づくり推進課

自立推進担当

☎ 2114

(内線261)